

(7) 自動車アセスメント情報提供業務

(中期目標)

- ① 車両の安全性能に関する公正でわかりやすい情報提供をより効果的に行うことにより、自動車メーカーの安全な車の開発意識を高める。

(中期計画)

- ① 効率的かつ公正な自動車アセスメントを実施することにより、自動車メーカーの安全な車の開発意識を高めるとともに、ユーザーが安全な車を選択しやすい情報を提供します。
これにより安全性能に係る指標（乗員保護性能は総合評価の☆の数※及び歩行者頭部保護性能は評価レベル）について、中期目標期間の年度毎に、過去に自動車アセスメントを実施した車種の後継車種の評価指標の平均値が、旧車種の評価指標の平均値以上となるようにします。
※総合評価の得点率を☆の数 6 段階で表示

(年度計画)

- ① 効率的かつ公正な自動車アセスメントを実施することにより、自動車メーカーの安全な車の開発意識を高めるとともに、ユーザーが安全な車を選択しやすい情報を提供します。
これにより安全性能に係る指標（乗員保護性能は総合評価の☆の数及び歩行者頭部保護性能は評価レベル）について、過去に自動車アセスメントを実施した車種の後継車種の評価指標の平均値が、旧車種の評価指標の平均値以上となるようにします。

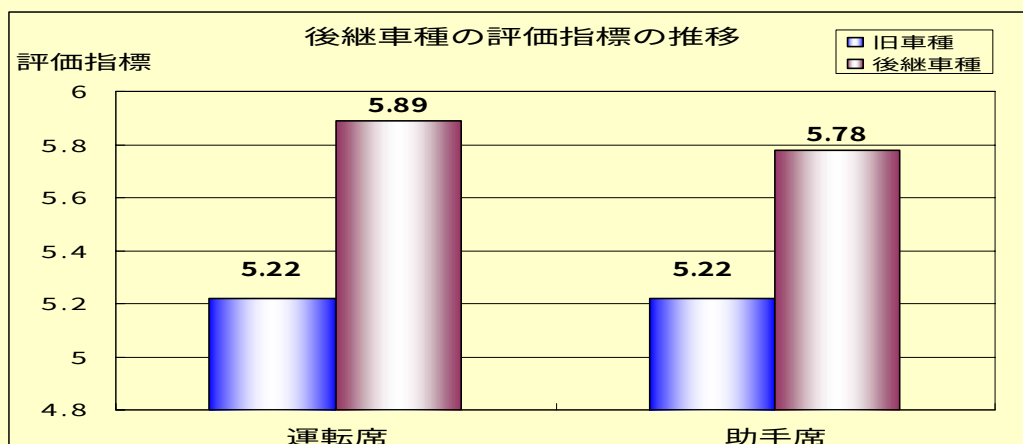
◎ 年度計画における目標値設定の考え方

安全性能に係る指標（乗員保護性能は総合評価の☆の数及び歩行者頭部保護性能は評価レベル）について、過去に自動車アセスメントを実施した車種の後継車種の評価指標の平均値が、旧車種の評価指標の平均値以上となるよう、広報等によりユーザーの安全性への関心を高めることで、安全性の高い自動車の普及を図る。

◎ 当該年度における取組み及び中期目標達成に向けた次年度以降の見通し

1) 平成19年度における取組み

- 平成19年度の自動車アセスメント試験では、後継車種（9車種）について評価指数の平均値が旧車種の評価指標の平均値以上となった。



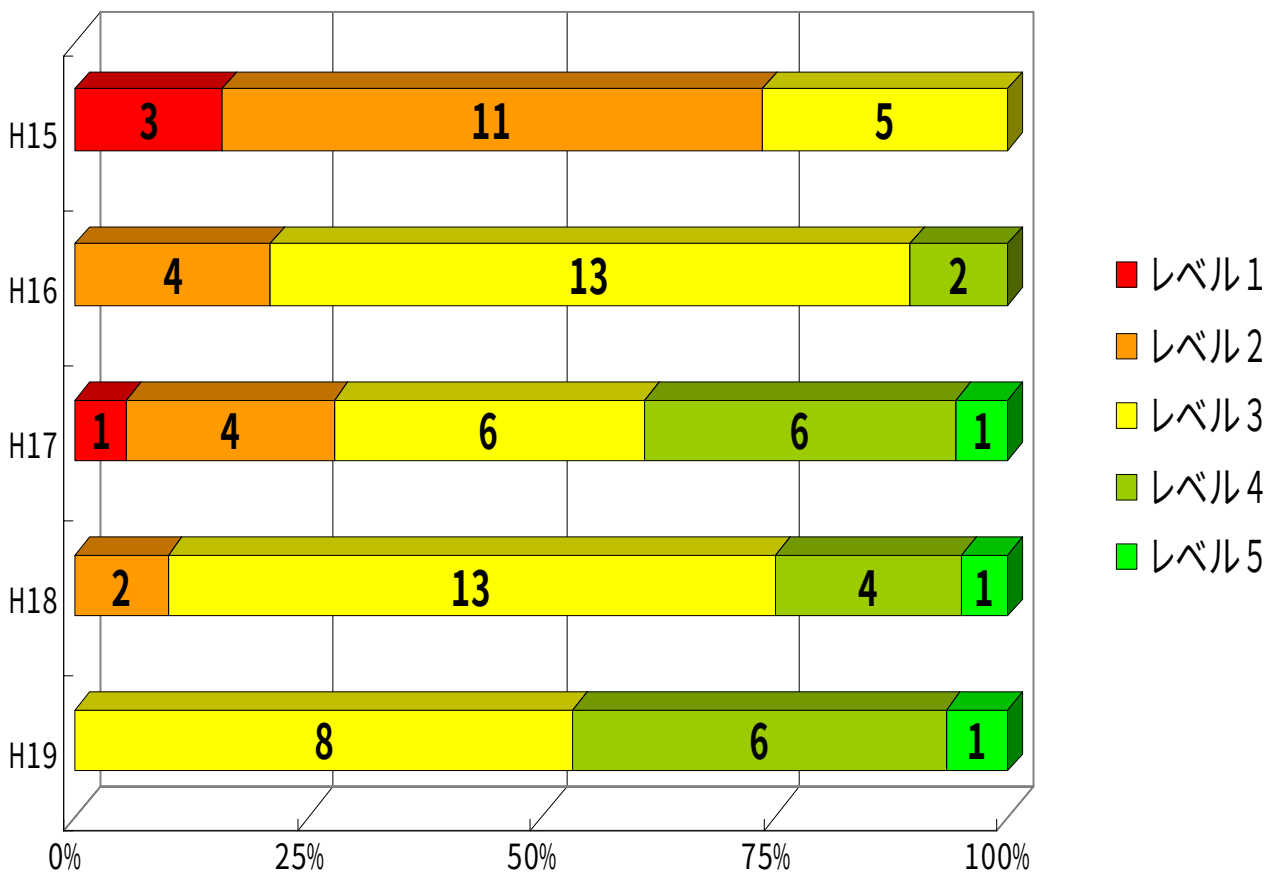
2) 中期目標達成に向けた次年度以降の見通し

引き続き公正でわかりやすい情報提供をより効果的に行い、評価指標の向上を図る。

◎ その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

- 歩行者頭部保護性能試験結果については、過去に歩行者頭部保護性能試験を実施した車種の後継車種がまだないことから、平成19年度に実施した15車種に係る歩行者頭部保護性能試験結果を含め、過去5年間について比較したところ、レベル1，2の車が減少したほか、前年度に引き続きレベル5の車が出るなど安全性の向上がみられている。

歩行者頭部保護性能試験結果



(中期目標)

- ① 車両の安全性能に関する公正でわかりやすい情報提供をより効果的に行うことにより、自動車メーカーの安全な車の開発意識を高める。

(中期計画)

- ② パンフレット配布、ホームページの構成改善、試験の公開、イベントの開催等により、アクセスしやすい、わかりやすい情報提供をユーザーに行います。

(年度計画)

- ② わかりやすい情報の提供

ア よりわかりやすいパンフレットを配布します。

イ よりわかりやすくホームページを改善します。

ウ 自動車アセスメント試験結果発表会の開催及び自動車アセスメントグランプリの発表をします。

エ メディアに対して自動車アセスメントの公開を行う等ユーザーに対しわかりやすい情報提供を行います。

オ モーターショーへ出展をします。

◎ 年度計画における目標値設定の考え方

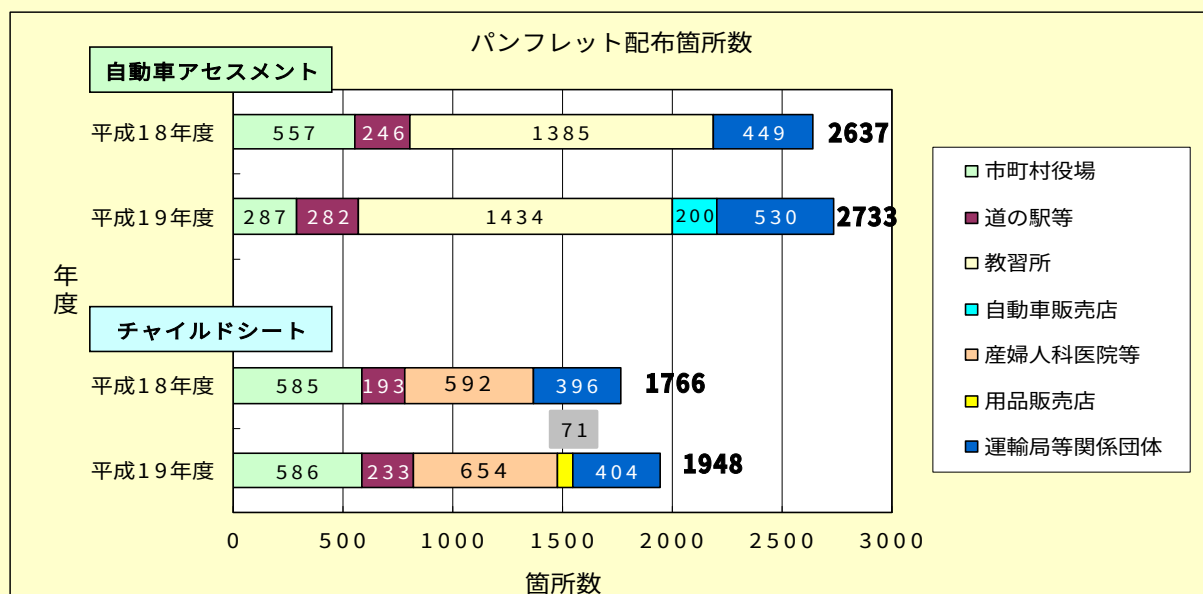
- パンフレットの配布箇所については、前年度（18年度）を上回ることとした。
- 利用者に対する情報提供については、パンフレット及びホームページをわかりやすいものに改善するほか、携帯サイトを新たに作成し、一般ユーザーのアクセス手段の改善を行った。

◎ 当該年度における取組み及び中期目標達成に向けた次年度以降の見通し

1) 平成19年度における取組み

ア. よりわかりやすいパンフレットの配布

- パンフレットの配布については、ユーザーが入手しやすい所に重点を置いて拡大を図った。



- よりわかりやすいパンフレットをめざし、以下の改善を実施した。

【自動車アセスメント】

- ・アセスメントの理解を高めるため試験方法・評価方法を巻頭に掲載した。
- ・車種毎の評価を見やすいようにまとめて配置を変更した。
- ・文字や写真サイズを拡大し、見やすくした。
- ・普及が望まれる横滑り防止装置等の予防安全装置について、装備状況を掲載した。

【チャイルドシートアセスメント】

- ・アセスメントの理解を高めるため、評価方法について記載内容を改善した。
- ・評価について、見やすいように改善した。

自動車アセスメント・パンフレット紙面の改善例

【予防安全装置の装備状況を掲載】



チャイルドシートアセスメント・パンフレット紙面の改善例



イ．ホームページの改善

- よりわかりやすいホームページをめざし、以下の改善を実施した。

【自動車アセスメント関係】

●新しい項目の作成

- ・ 自動車メーカーの安全技術紹介ページとのリンクを作成
- ・ 「よくある質問」に新規項目を追加
- ・ 自動車アセスメントグランプリ 07/08 受賞車の紹介

●わかりやすさの改善

- ・ 「試験自動車の検索」ページのレイアウト変更
- ・ 「安全装置の働きと使い方」ページの写真・イラストの追加
- ・ 「試験の流れ」等ページの画像の差し換え、レイアウトの変更
- ・ 「自動車アセスメントとは」ページの説明内容の修正
- ・ 「安全装備の状況一覧」ページの表の更新、内容修正、レイアウトの変更等

●閲覧操作性の改善

- ・ 「試験実施車種一覧」等ページの更新・スクロール時の見やすさの改善

【チャイルドシートアセスメント関係】

●わかりやすさの改善

- ・ 「試験機種一覧」ページのレイアウト変更
- ・ 「チャイルドシートの使い方」ページの画像の差し換え、レイアウトの変更
- ・ 「腹部圧迫計測」ページの画像追加、レイアウト修正

●閲覧操作性の改善

- ・ 「試験実施車種一覧」等ページの更新・スクロール時の見やすさの改善



○ 携帯サイトの作成

より多くのユーザーからのアクセスを受けることを目的に携帯サイトを新設した。これにより、自動車アセスメントの評価結果について、手軽に閲覧することが可能となった。

NASVAは安全・安心のパートナー



独立行政法人
自動車事故対策機構

- 安全な自動車選びのために -

自動車アセスメント

気になる車種の安全性をチェック!!
試験結果が詳しくわかります!!

- ①自動車アセスメントとは?
- ②試験自動車を探す
- ③→タイプから探す
- ④→メーカーから探す
- ⑤試験方法の説明
- ⑥試験結果の見方
- ⑦対象車種の選定方法
- ⑧試験車の調達方法

⑩ページトップ

NASVA mobile
ナスバ モバイル

自動車アセスメント試験結果

SUZUKI
アルト G



衝突安全性能総合評価

運転席	★★★★★★
助手席	★★★★★

→歩行者頭部保護性能はこちら
→ブレーキ性能はこちら

→試験結果の見方

・試験車データ

試験結果

・衝突安全性能試験
→総合評価

ウ．自動車アセスメント結果発表会の開催及び自動車アセスメントグランプリの表彰

一般ユーザーに自動車アセスメントについて知ってもらうため、平成20年4月21日（月）に東京大手町サンケイプラザにおいて、メディアを対象とした自動車アセスメント結果発表会を行った。



安全性の優れた自動車を開発したメーカーの栄誉を称えることにより、メーカーに対し、より一層安全な自動車の開発を促すとともに、自動車アセスメントの知名度向上を図り、自動車の安全性についてユーザーの関心を高め、安全な自動車の普及を促進することを目的として創設した自動車アセスメントグランプリについて、19年度に試験を行った自動車の中から「インプレッサ」を選定し、この結果発表会において表彰を行った。

また、併設のメトロスクエアで試験自動車、グランプリ受賞車の一般公開を行った。

1) 自動車アセスメント結果発表会

- ・平成19年度自動車アセスメント試験結果の発表
- ・自動車アセスメントグランプリ 07/08 の表彰
- ・メーカーの技術担当者による安全技術の紹介
- ・主要な予防安全装備について、パンフレットで公表開始

2) 試験車両の一般公開

- ・評価結果優良車、グランプリ受賞車をイベント広場のメトロスクエアに展示
- ・チャイルドシートアセスメントの成績優良チャイルドシートの展示
- ・自動車アセスメント、チャイルドシートアセスメントのパンフレットを配布
- ・スタビリティ・コントロールシステムのシュミレータ等を展示

【試験結果の発表会】



【試験車両の一般公開（グランプリ受賞車の前で）】



- ・結果発表会に報道関係者等130人を超える参加があった。
- ・試験車両の一般公開で自動車アセスメントのパンフレットを約1500部配布した。

3) 報道の実績



平成20年4月21日 16:53～
 テレビ朝日「スーパーJチャンネル」
 -スバルインプレッサが最も安全-
 (放映時間：52秒)

・テレビ

テレビ朝日(4月21日)	16:53～	スーパーJチャンネル	(放映時間 52秒)
テレビ東京(4月21日)	23:30～	ビジネスサテライト	(放映時間 30秒)
テレビ東京(4月21日)	6:01～	Newsモーニング サテライト	(放映時間 1分03秒)

・新聞

読売新聞(4月22日)、朝日新聞(4月22日)、日刊自動車新聞(4月23日)、交通毎日新聞(4月23日)、FujiSankiBusiness(4月22日)、その他(産業経済紙、地方紙等)77紙

・Web

(4月21日)

日経ブロードバンドニュース @niftyニュース、 gooニュース、infoseekニュース、Yahooニュース、carview、Response、YomiuriOnline、asahi.com モーターマガジン社、産経Web(4月26日)、時事ドットコム等 56サイト

(4月22日～)

GAZOO.com、NikkeiBPnet、価格.Com、cybozu.net、MSN自動車、AutoGallery.NET等 31サイト

・カー雑誌

ドライバー(6月20日号)、ルポラン(7月号)、週間SPA!(5月13日号)、モノ・マガジン(5月16日号)、Motor Magazine(6月号) 週間アスキー(5月27日号) FENEK(6月号) ホリデーオート(6月号) ベストカー(6月10日号) マガジンX(7月号) 日経AutomotiveTechnology(7月号) 5月28日現在 11誌

- ・テレビ広告へ利用

スバルインプレッサの広告放送時、安全な自動車選びの基準のひとつとして自動車アセスメントを引用。（４月２３日～５月末日：提供番組での放映、延べ放送時間１５秒×５０本）

エ．公開試験の実施

平成２０年２月１日（金）に衝突安全性能試験の公開試験を実施し、併せて頸部保護性能評価の導入に向けての調査試験（スレッド衝撃試験）の公開も行った。

頸部保護性能試験導入のための調査試験（スレッド衝撃試験）は、ダミーを搭載した運転者用の座席を取り付けたスレッド（台）を、高速（時速２１Km）、低速（時速１４Km）の２条件で前方に打ち出すことにより、後方から追突された状態を再現したもの。



○ 公開試験に係る報道の実績

- ・新聞 日刊自動車新聞（平成20年2月18日）
 保険毎日新聞（平成20年2月20日）
 交通毎日新聞（平成20年2月6日）

- ・雑誌 自動車セミナー2008/3 No548
 ルボラン 4月号
 NAVI 4月号
 ベストカー 4月号
 アクティブビークル 4月号
 CARトップ° 4月号
 driver 2008.3.20号
 ホリデーオート 3月号
 マガジンX 4月号

- ・web 日経ブロードバンドニュース
 Web CG
 Response

オ．モーターショーにおける自動車アセスメント事業の周知

実施日時 平成19年10月26日（金）～11月11日（日） 17日間 10:00～19:00

実施場所 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1 幕張メッセ

周知内容 自動車アセスメント試験車両の展示
「自動車アセスメント」ビデオの放映
アセスメント紹介パネルの展示
自動車アセスメントパンフレット及びチャイルドシートアセスメントパンフレットの配布（自動車49,000部 チャイルド10,000部）
自動車アセスメントに関するアンケート調査の実施
入場者数 約1,425,600人

【展示ブース】



【冬柴大臣にもご覧いただきました。】



2) 中期目標達成に向けた次年度以降の見通し

引き続き、公正でわかりやすい情報提供に努め、パンフレット配布箇所の拡大等わかりやすい情報の提供機会の活用を進めることとしている。

◎ その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

○ 東京モーターショー以外のイベントにおけるアセスメントの周知

1. 大阪モーターショーへの試験車両の展示等

実施日時 平成19年11月30日（金）～12月3日（月） 4日間 9:30～18:00

実施場所 大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102 インテックス大阪3号館内

周知内容 自動車アセスメント試験車両の展示

「自動車アセスメント」ビデオの放映

アセスメント紹介パネルの展示

自動車アセスメントパンフレット及びチャイルドシートアセスメントパンフレットの配布（自動車5,000部 チャイルド5,000部）

入場者数 約372,500人（来場者数）

2. 仙台モーターショーでのアセスメント紹介等

実施日時 平成19年12月15日（土）～12月16日（日） 2日間 10:00～18:00

実施場所 宮城県仙台市宮城野区3-1-7 メッセみやぎ（コンコース）

周知内容 「自動車アセスメント」ビデオの放映

アセスメント紹介パネルの展示

自動車アセスメントパンフレット及びチャイルドシートアセスメントパンフレットの配布（自動車1,500部 チャイルド1,500部）

入場者数 約49,223人（来場者数）

(中期目標)

- ① 車両の安全性能に関する公正でわかりやすい情報提供をより効果的に行うことにより、自動車メーカーの安全な車の開発意識を高める。

(中期計画)

- ③ 以上の施策を行うことにより、ユーザーに対する5段階評価の調査における利用度・満足度についての評価度について、中期目標期間の年度毎に4.0以上とします。

(年度計画)

- ③ 以上の施策を行うことにより、ユーザーに対する5段階評価の調査における利用度・満足度に関する評価度（19年度）について、4.0以上とします。

◎ 年度計画における目標設定の考え方

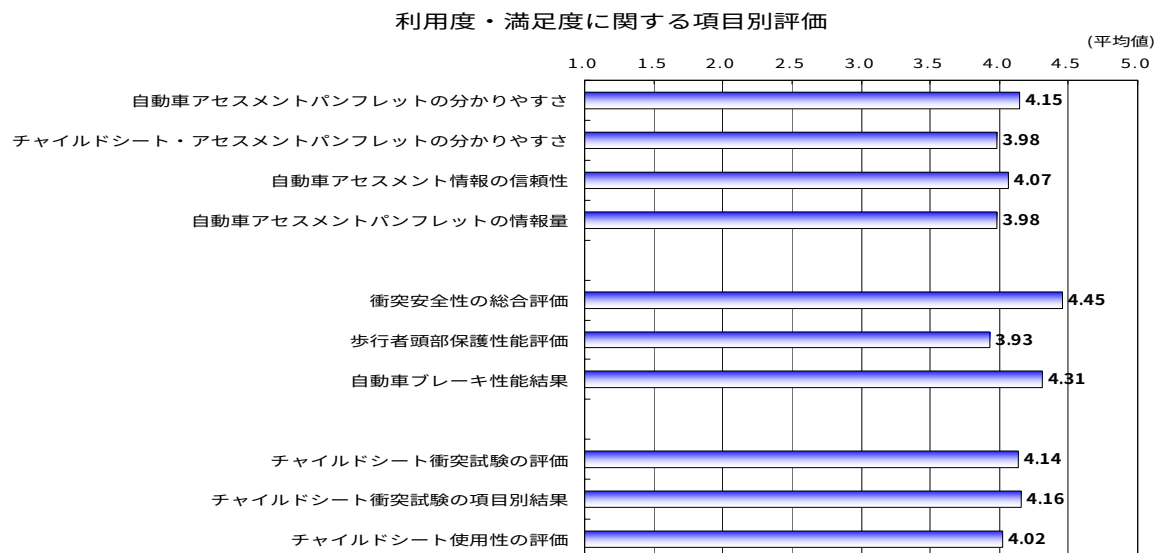
ユーザーに対する満足度調査を行い、5段階評価による評価度について4.0を上回ることを目標とした。

◎ 実績値

1) 平成19年度における取組み

○ ユーザーの評価度

平成18年度より、0.09ポイント上回り4.12の評価を得た。



調査概要

- ・調査期間：平成19年4月～20年2月
- ・インターネット及び自動車ユーザー団体機関誌を対象としたアンケート回答総数：409件

2) 中期目標達成に向けた次年度以降の見通し

引き続き中期計画上の目標値を達成するよう業務を遂行することとしている。また、平成19年度の項目別評価結果も踏まえ、業務の改善を図ることとしている。

◎その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

(中期目標)

- ② 質の高いアセスメント試験を行うとともに、アセスメントをより効果的なものとするため、実事故との相関を分析し、車両の安全性能に関する試験内容や評価方法の改善を図る。

(中期計画)

- ④ 予防安全性能、衝突時の乗員対策及び歩行者の保護性能を改善するため、事故実態を踏まえ、試験方法、評価方法の策定や見直しを行います。
また、後遺障害者数が多い実態を踏まえ、後遺障害対策にも取り組みます。

(年度計画)

- ④ 調査研究の実施
- ア 乗員の側面衝突時の頭部傷害による死亡重傷率を低減させるため調査研究を行います。
 - イ むち打ち保護性能試験の試験方法について調査研究を行います。
 - ウ 歩行者脚部保護性能試験導入のための基礎調査を実施します。
 - エ 交通事故を未然に防止するため予防安全装置の効果評価のための基礎調査を行います。
 - オ 総合評価以降に実施した試験対象車種の事故データを調査・収集するとともに、当該車種の傷害部位別前面衝突安全性能評価結果との相関関係を解析します。

◎ 年度計画における目標設定の考え方

今後導入すべき各種試験に関する、調査研究を進める。

◎ 当該年度における取組み及び中期目標達成に向けた次年度以降の見通し

1) 平成19年度における取組み

ア. 乗員の側面衝突時の頭部障害に係る死亡重傷率低減のための調査研究

電柱等車外の構造物への衝突を含む側面衝突時の頭部保護性能改善方策として有効なカーテンエアバッグの普及促進のため、アセスメント試験・評価方法等について検討した。

平成20年度より、一定の要件を満足するカーテンエアバックが装備された車種をより安全性の高い車種として公表することとした。

イ. むち打ち保護性能試験の試験方法に係る調査研究

21年度評価導入を目標として、平成19年度は、平成18年度に実施した実車後面衝突試験で得られた車体加速度等の基礎データを基に、シート単体毎に異なる加速度を与えるHYGEスレッド試験を実施する等試験方法の検討を実施。

また、国内事故統計から頸部損傷が発生しやすい衝突速度、加速度等の調査を実施した。

ウ. 歩行者脚部保護性能試験導入のための基礎調査の実施

自動車の前面部（バンパー・スポイラー・ボンネット先端部等）に歩行者の脚部が衝突した際の「歩行者脚部保護性能」試験実施に向け、19年度は、自動車の歩行者脚部保護性能の評価試験で用いる脚部衝撃子の検討を行い、自動車の歩行者脚部保護性能の評価試験結果に及ぼす影響の度合いについて調査を行った。

なお、調査結果に基づく知見をもとに、20年度において引き続き試験法等の検討を行う

こととしている。

エ．交通事故を未然に防止するため予防安全装置の効果評価のための基礎調査の実施

予防安全技術検討WGを設置し、予防安全装置の分類整理を行い、20年度のパンフレットに掲載すべき主要な安全装備について検討を実施。主要な予防安全装備について、配布するパンフレットにも記載すること等で装備の普及を図ることとした。

オ．総合評価以降に実施した試験対象車種の事故データ調査・収集相関分析の実施

これまで公表してきたアセスメント評価結果と事故実態の相関関係を解析するため、フルラップ・オフセット衝突試験で測定している傷害値（頭部、頸部、胸部、下肢）の部位別に実事故における死亡重傷率との相関関係を分析した。

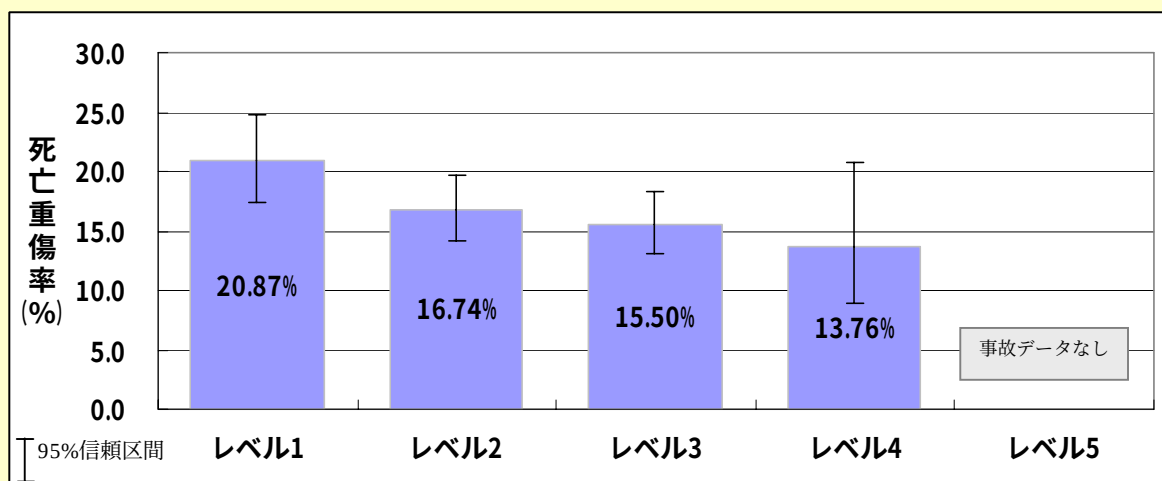
2) 中期目標達成に向けた次年度以降の見通し

引き続きアセスメントをより効果的なものとするため、車両等の安全性能に関する試験内容や評価方法の改善を図ることとしている。

◎ その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

自動車アセスメントの歩行者頭部保護性能評価レベルと実事故データにおける死亡重傷率の相関関係を分析し、自動車アセスメントの歩行者頭部保護性能評価が高い車ほど、実際の歩行者との衝突事故の際に歩行者の被害を軽減している等について、検証し、平成20年3月27日、公表した。

歩行者頭部保護性能評価結果と事故実態との相関分析



(中期目標)

- ③ 海外のアセスメント関係機関との情報交換等により試験開発能力の向上を図る。

(中期計画)

- ⑤ 専門家との討論及び情報交換を実施するなど、各国のアセスメント機関、専門家等との情報交換を継続的に実施することにより、試験方法の見直し、情報提供方法の改善等に役立てます。

(年度計画)

- ⑤ 海外の関係機関との情報交換等
 - ア 海外のアセスメント関係機関との討論及び情報交換を積極的に行うとともに、自動車の安全性に係る国際会議へ参加し、その結果を踏まえて今後の我が国の試験方法、情報提供方法等の改善に役立てます。
 - イ 世界NCAP会議の結果を踏まえ、アジア諸外国におけるアセスメント事業との連携を図ります。
 - ウ 海外のアセスメント実施機関等とむち打ち保護性能試験について意見交換を行います。

◎ 年度計画における目標設定の考え方

各国アセスメント関連機関、専門家等と継続的に討論及び情報交換を行い、試験法、評価法等の開発に資するために、各種国際会議に参加することとした。

◎ 当該年度における取組み及び中期目標達成に向けた次年度以降の見通し

1) 平成19年度における取組み

- ア. 海外のアセスメント関係機関との討論及び情報交換、自動車の安全性に係る国際会議へ参加
平成19年6月19日にフランスで開催されたESV会議（自動車安全技術に関する会議）に出席し、実事故データと自動車アセスメントの歩行者頭部保護性能評価結果との相関分析について発表した。
また、平成19年6月21日にフランスで開催された世界NCAP会議に出席し、実事故データとブレーキアセスメント結果の相関分析及び実事故データと自動車アセスメントの歩行者頭部保護性能評価結果との相関分析について、発表するとともに、メディア戦略について意見交換を行った。
- イ. アジア諸外国との連携
韓国、中国、インド等のアジアのアセスメント実施機関とアセスメント事業の連携について、情報交換を行うとともに、特に世界NCAP会議の際、韓国の自動車アセスメント実施機関と新たな自動車アセスメント試験の導入スケジュール等について、意見交換を行った。
- ウ. 海外アセスメント機関とのむち打ち保護性能試験の意見交換
ESV会議及び世界NCAP会議の機会を捉え、頸部保護性能試験に関する情報交換等を行った。

【ESV 会議（自動車安全技術に関する会議）】



【世界N C A P会議】



2) 中期目標達成に向けた次年度以降の見通し

引き続き海外アセスメント関係機関と情報交換を行い試験開発能力の向上を図ることとしている。

◎ その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報

○ オーストラリアビクトリア州議会（交通安全委員会）議員との会議

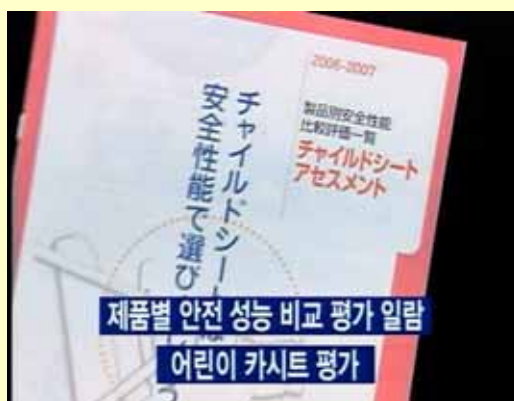
日 時 平成19年8月28日(火) 13:00～15:00
場 所 独立行政法人 自動車事故対策機構本部 役員会議室
訪 問 者 オーストラリアビクトリア州上院議員2名、下院議員2名
交通安全委員会事務局長、ビクトリア州政府プロジェクトマネージャー
対応内容 自動車の乗員に対する安全技術（シートベルト、エアバッグ等）の衝突安全性能試験、
その他の事故防止技術（ESC、PCS等）についての情報を提供した。
対 応 者 企画部長、安全情報グループ・マネージャー他4名
会議内容

- ・ 日本における自動車アセスメント事業概要
- ・ チャイルドシートアセスメント事業概要
- ・ 先進安全技術に係る取り組み状況

○ 韓国テレビ局への取材対応

日 時 平成19年9月20日(火) 14:00～16:00
場 所 独立行政法人 自動車事故対策機構本部
取 材 者 韓国KBSテレビ
取材内容 日本におけるチャイルドシートアセスメント事業について
（チャイルドシートの安全性に係る特集番組の中で、日本のチャイルドシート安全評価制度について紹介）
対 応 者 企画部長

【韓国で放映された映像】



○ 中国自動車技術研究所(C-NCAP)との相互リンクの実施

平成19年3月中国で開催された「中国道路車両安全セミナー」へ金澤理事長が招聘された際、ホームページへの相互リンクの申し合わせが行われ、調整を経て19年度にそれぞれのホームページにリンク用バナーの貼付けを行った。

自動車事故対策機構（J-NCAP）サイト



中国自動車技術研究所（C-NCAP）サイト



自動車事故対策機構（J-NCAP）英語サイト



(中期目標)

- ④ 外部評価を行い、その内容を国民にわかりやすい形で情報提供する。

(中期計画)

- ⑥ 業務改善状況等についてタスクフォースにより外部評価を行い、その結果をホームページ等で公表します。

(年度計画)

- ⑥ 業務改善状況等についてタスクフォースにより外部評価を行い、その結果をホームページ等で公表します。

◎ 年度計画における目標設定の考え方

中期計画と同様の目標とした。

◎ 当該年度における取組み及び中期目標達成に向けた次年度以降の見通し

1) 平成19年度における取組み

平成19年度の実績値について、タスクフォースによる外部評価を実施し、その結果をホームページで公表した。

タスクフォースによる外部評価結果

(1) 安全性の向上

自動車の衝突安全性能については、年々最高の6★が増えており、中期計画で達成目標とされている、過去に自動車アセスメントを実施した車種の後継車種の評価指標の平均値が旧車種の平均値以上となるようにすることについても、19年度に試験を行った後継車種の平均値は運転席5.89、助手席5.78で、旧車種の平均値（運転席、助手席とも5.22）以上となっており目標は達成されている。

今後もユーザーの安全性への関心を高めるため広報等を行うことにより安全性の高い自動車の普及を図ることが必要である。

また、15年度に試験が開始された歩行者頭部保護性能については、年々着実に改善が進んでおり、前年度と比較して19年度も向上をみている。今後も引き続き安全性の向上に取り組む必要がある。

(2) 交通事故実態を踏まえた試験方法等の検討及び見直し

①カーテンエアバッグの普及促進のため、一定の要件を満足するカーテンエアバックが装備された車種を、より安全性の高い車種として20年度より公表するための検討、②21年度評価導入を目標とした、後突頸部傷害保護性能試験法の検討、③「歩行者脚部保護性能試験」実施に向けた脚部衝撃子の検討、④交通事故を未然に防止するため、主要な予防安全装置につい

て検討し、横滑り防止装置（ESC）と被害軽減ブレーキ（B）のパンフレットへの掲載、及び、⑤フルラップ・オフセット衝突試験で測定している傷害値（頭部、頸部、胸部、下肢）について、部位別に実事故における死亡重傷率との相関関係の分析等を実施し、試験方法等の検討及び見直しに関し、着実な成果を上げている。

また、諸外国の自動車アセスメント実施機関が参加する国際会議に参加し、試験方法等に関する意見交換を行う等、アジアを含む海外の自動車アセスメント実施機関等と連携し、積極的に情報交換・情報収集を図っている。

今後とも、交通事故を未然に防止するという視点も含め、自動車等の安全性向上のために試験方法等の改善を進めていくことが必要である。

（３）情報提供方法についての改善と広報の拡大

年間１１回のプレスリリースを行い、特に、自動車アセスメント結果発表会については、自動車アセスメントグランプリ表彰を行っていること等からマスコミの関心も高く、テレビ報道３回、一般紙を含む新聞報道７紙等多数のメディアに取り上げられるなど、自動車アセスメントの認知度向上への努力が認められる。

また、ユーザーニーズを踏まえ、携帯サイトを開設した他、ホームページやDVD等の新しい情報媒体を活用した広報、パンフレットの情報提供内容の改善、マスメディアを招待しての公開試験（自動車アセスメント試験と後突頸部傷害保護性能評価の導入に向けた調査試験）の実施、パンフレットの配布先拡大等、情報提供機会の拡大についての努力は認められる。引き続き情報提供方法の改善等に努め、パンフレットの配布先についても一層の拡大やホームページの充実等について取組みが必要である。

２）中期目標達成に向けた次年度以降の見通し

引き続き外部評価を行い、その結果をホームページ等で公表するとともに、評価結果に基づき改善を図ることとする。

◎ その他適切な評価を行う上で参考となり得る情報